

編集後記

一橋大学スポーツ科学研究室は、過渡期を迎えている。長く研究室を支えてきた尾崎正峰・坂上康博両先生が相次いで退任され、今年度は4名の陣容でどのようにユニットとしての研究活動を維持するのが問われることになった。無論これは予期されていたことであり、3年前に大学院卒業生を中心とした若手研究者をつなぐネットワークとして一橋スポーツ科学研究会を発足したことは、このピンチを逆にチャンスへと転換する狙いがあった。本年報も、専任教員に閉じた紀要としての性格よりも、国内外のスポーツ研究者の学的交流の媒体という意味合いを強めたいと考えてきた。

それを受けて今号は、2024年に開催した6回の研究会のうちの3回と専任一名によるセミナーの講演録を収録している。巻頭言にあるようにスポーツという現象が他の様々な社会システムに接続するなかで、その価値を変容させていく様子を描き出すことができたのではないかと考えている。いずれもこの機会を種として、今後更なる研究交流に発展していくことを願っている。

今号の編集作業に当たっては、いまだ我々の研究ネットワークの大きなハブである坂上康博名誉教授に多大な労をとっていただいた。この場をお借りして改めて謝意を表したい。同時に、来年度以降の編集体制を構築するにあたり内外の資源をどのように活用していくのかを、最優先課題として取り組んでいきたい。

1981年に本学に着任され29年の長きにわたり一橋におけるスポーツ社会学の研究教育を長く支えられた上野卓郎名誉教授が2024年12月14日に永眠された。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。本研究室を引き継ぐ榮譽を得た一人として、心新たに研究ユニットとしての継承と発展に精進して参りたい。

(鈴木 直文)

一橋大学 スポーツ 研究 Vol. 42

変容するスポーツ的価値生成のダイナミクス

2025年3月31日 発行

編集・発行 一橋大学スポーツ科学研究室

〒186-8601 東京都国立市中2-1

TEL 042-580-8270

<https://sport.soc.hit-u.ac.jp/>
